

平成 29 年 3 月 6 日

名古屋市立大学大学院 医学研究科

准教授 小嶋 雅代

学術研究の名称「代替医療利用者の社会的背景に関する研究」

研究の概要

国際シンポジウムで発表

Findings from Comprehensive Survey of Living Condition in Japan: Use of Observational Study in CPG development for traditional medicine. Masayo Kojima, Takeo Nakayama, Keiko Yukawa, Kiichiro Tsutani. The 4th International Symposium of Evidence-Based Clinical Practice Guideline in Traditional Medicine, Korea Institute of Oriental Medicine, Daejeon, Korea, 27 October, 2015.

平成 19 年国民生活基礎調査 匿名データを利用した本研究結果から、女性の方が男性より積極的に按摩・鍼灸・柔道整復治療を利用しており、その傾向は年齢が高くなるほどより顕著に見られることが分かった。また、按摩・鍼灸・柔道整復受療者の割合は、男女ともに筋骨格系および手足の症状を訴える人の中で多かった。わが国では、筋骨格系および手足の症状に対し、按摩・鍼灸・柔道整復が広く一般的に利用されている一方、通常の医療の補助としてではなく、肩こり症および腰痛症のための独立した治療法として受けている人が多いことが示唆される。